

# 学力調査における設問の要素を取り入れた授業改善

## 「事実や経験を基に、自分の考えを書く力」を育成する授業

令和4年度コアティーチャープロジェクト部会小学校国語部会

### <授業の趣旨>

本授業は、令和4年度全国学力・学習状況調査小学校国語科の大問<sup>3</sup>を参考に、第6学年12月単元「書き方を工夫して、経験と考えを伝えよう『大切にしたい言葉』」を構想した。大問<sup>3</sup>の趣旨は、「文章全体の構成に着目して文章を整えたり、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたりすることができるかどうかをみる」ことであり、推敲の学習場面が設定してある。3つの設問は全て推敲に関わる設問であるが、単元構想では設問1と設問2を取り上げた。以下に、調査問題の解説と調査問題を取り入れた単元構想について述べたい。

#### 設問1

設問1の趣旨は、「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる」ことである。文や文章を整えるためには、文章全体の構成や、書き表し方に着目して推敲することが必要である。ここでは、島谷さんが、自分の考えが明確に伝わるように、文章全体の構成に着目して文章を整え、自分の考えを最初に書いていることを捉えることが求められる。冒頭部の一文は、「わたしがこの一年でがんばりたいことは～です。」とあり、「は」という助詞に着目することで「わたしががんばりたいこと」を最初に述べていることを捉えることができる。

#### 設問2

設問2の趣旨は、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。」ことである。なお、設問2では、[思考力、判断力、表現力等]の「B書くこと」の「共有」に関する指導事項を取り上げている。

ここでは、【文章2】のよさとして、「聞いたことや経験したことをもとにしていること」や「最後の段落にがんばりたいことを具体的に書いていること」など、事実と感想、意見とを区別して具体的に書くことや文章構成の工夫を推敲の観点として、【文章2】から言葉や文を取り上げて、60字以上100字以内で書くことが求められている。

#### 授業構想にあたって

- 1 推敲場面において、次のように調査問題における設問の要素を取り入れていきたい。
  - (1) 文章構成を考える際に、全国学力・学習状況調査問題<sup>3</sup>の1を使って、文章全体の構成の工夫を捉えさせる。
  - (2) 記述の推敲場面では、次の2つの課題を取り上げる。
    - ① 伝えたい思いを伝えるために、詳しく書くことの課題
    - ② 主語・述語のねじれや一文が長くて分かりにくいことの課題
      - ・ 平せ30年度全国学力・学習状況調査A<sup>5</sup>
      - ・ 平成31年度全国学力・学習状況調査<sup>1</sup>4(2)
- 2 共有場面では、書いた文章を読み合い、文章構成や表現の工夫についてのよさを指摘し合うことで、自分の文章のよさに気付かせる。また、ここでは、全国学力・学習状況調査<sup>3</sup>の2の問題を演習問題として使う。